

高槻市内で『防災ワークショップ』を実施しました！

日 時：2014年8月8日（金）（12：30～16：00）

場 所：高槻市障がい者福祉センター

参加者：高槻市の住民さん、合計約100名

ファシリテータ：建築学科学生13名+大学院生（社会開発工学専攻）2名

今回の見どころ

今回は、高槻市障がい者福祉センターにて、摂南大学生による防災ワークショップ「まなぼうさい！」を開催しました。主に子ども（幼稚園児～小学校低学年）を対象とし、「ぼうさい駅伝」や「ぼうさいクイズ」、「新聞紙でスリッパを作ろう」などを行いました。また、特に、今回初披露となる「ぼうさい体操」は、他すべてのプログラムを一時中断し、みんなで元気に体操するプログラムとしました。私たちが行うプログラムの多くは、大人が対象の避難所運営訓練HUGですが、今回は久しぶりに低年齢の子供たちが対象なので、朝からテンションをあげてプログラムをはじめました。



参加してくれた子ども達。
とにかく元気いっぱいです。

プログラム実施風景



プログラム準備中。本番が近づくにつれて少しずつ緊張しています。



ぼうさい駅伝がスタート！子どもたちも一生懸命にチャレンジです。



新聞紙でスリッパを作成しています。地味な作業かな？と心配しましたが、意外（？）にも大人気でした。みんな完成するかな？



こちらでは、ぼうさいクイズをしています。ちょっと難しかったかなー！



「ぼうさい体操」中の子供たち。みんなノリノリでテンション高く、私たちはついていくのに四苦八苦。。

プログラム実施結果

プログラム開始前は、「子どもたちは楽しんでくれるのか？」や「難しすぎて飽きないか？」と心配しました。しかし、参加してくださった皆様がとてもよい笑顔で楽しそうだったので、ほっとしました。プログラムの中では「ぼうさい駅伝」が特に人気でした。最初は「子どもたちには「防災」って堅苦しいかな」と思いましたが、ゲーム形式にすることによって伝えられることがあることを私たちも学びました。



参加してくれた近くの保育園の子ども達と集合写真。地震時に頭を守るダックのポーズ！！！！

参加していただいた高槻市の皆様、ありがとうございました。今回のプログラム実施に当たり、高槻市障がい者福祉センターの皆様には多大なるご協力を頂きました。心から感謝申し上げます。